

# 海外情報



ノンウエブズ・マーケット特約

## ■世界の動向

### спанレースでワイパー好調

過去数年、世界のспанレース市場で、ワイパー需要が大幅に増加しており、経済低迷にもかかわらず好調を維持している。спанレース業界は02年上半期明け時点で、市場の先行きを楽観視している。新規参入による価格への影響が心配されたが、今年の契約顧客の大きな価格調整には至っておらず、現地相場のみわずかに低下している。

欧州、北米のспанレース生産量はそれぞれ10万t程度で、生産能力は生産量を上回っており、01年の生産量は引き続き2桁の伸びを示した。欧州はспанレースの生産量・能力ともに北米をリードしている。

しかし欧州では過去2年に新規ラインの大半が設置されており、北米もこれに追いつき始めている。北米ではPGI社が01年に第3ミラテック・ラインの稼働を開始させた。また、グリーン・ベイ社は03年に、より大規模な第2ラインの新設を発表している。

ここ2,3年で新ワイパーへの需要に注目が集まっている。спанレース市場全体として拡大傾向にあるが、従来用途のспанレース需要は緩やかな増加にとどまっている。従来の低速ラインは、高速ラインでは製造が困難な交差方向に

強度をもたせた特殊素材の生産で生き残ってゆくものと予想される。

## ■欧州

### 2001年不織布売上が8.5%増加

EDANAの発表によれば、西欧不織布メーカーの01年の原反生産量は、107万tで、売上は00年から8.5%増加して44億5,000万ユーロとなった。

6～7月に163の会員企業に送付されたEDANAレポートのよれば、欧州の不織布業界は回復傾向にあり、欧州でのспанメルトとспанレースラインの設備投資が続き、生産量は12%増の290億6,000万㎡となった。重量ベースでは4.3%増加したが、99年から00年の12%増に比べて低成長に終わった。これは、軽量不織布への生産比重の移行が原因と考えられる。

また、INDAによれば、01年の西欧不織布業界の生産量は北米の120万tをわずかに下回った。INDAによれば、01年の北米の不織布業界の売上は41億ドルで、EDANAが集計した欧州の数字よりもわずかに低いものとなった。

欧州不織布業界の近年の傾向は、カード式サーマルボンドやケミカルボンドといった従来の乾式から、高生産能力のспанレースやマルチビームのспанメルトラインに移行している。過去2年間でエアレイドラインも数ライン増設されている。

## ■メキシコ

### 景気軟化で紙おむつ市場が低迷

メキシコのベビー用紙おむつ市場は、02年上半期に売上が下落し、下半期も横ばい状態が続くとみられる。米国の景気低迷の影響を受けて、02年1月から6月の紙おむつの売上は、前年同期比で6～9%低下した。

高級紙おむつを購入していた家庭は中程度のブランドへ移行し、中程度のブランドを購入していた家庭はさらに価格の低い紙おむつへと移行する傾向

が見られる。さらに最安値の紙おむつを購入していた家庭では、紙おむつを購入を止める動きも見られる。市場でもっとも大きな売上を占める低価格帯商品を巡るメーカー間の競争は、激化の一途を辿っている。

低価格帯紙おむつの大手メーカー、ランビ社では、02年の全製品の売上が前年比で6%落ち込んだ。しかし、前年比でベビー用紙おむつの売上が20%増加しているため、同社は楽観視している。同社は、冷え込みが予想される第4四半期には紙おむつの使用枚数が増加し、売上は持ち直すとしている。

一方、03年のメキシコ市場が直面する過剰供給の問題を懸念する向きもある。今後、最低8ラインの紙おむつ加工ラインが増設される見込みで、紙おむつ業界が生産した紙おむつを完売できない可能性もでてくる。

## ■ブラジル

### 紙おむつ市場で大手がシェア落す

ブラジルは現在、2歳未満の子供の人口が約1,000万人、紙おむつ普及率が30%未満という、南米最大のベビー用紙おむつの潜在市場である。

紙おむつ市場は、00年から01年にかけて市場価値の18%を失い、収益内容が芳しくなかったキンパリー・クラーク(K-C)社、プロクター&ギャンブル(P&G)社、グループPIマーベ社は、いずれもマーケティング部門の責任者を交代させている。

多国籍企業は90年代に大いなる希望を抱いてブラジル市場に参入した当初は、成功を収めた。91年当時、紙おむつはほとんど普及しておらず、1個につき約1ドルで販売された。93年、P&G社は低コストの男女共用パンパース・ユニの販売を開始した。

一方、K-C社はアルゼンチン企業を買収して、ブラジル市場でのシェアを拡大していった。96年にはブラジル最

大の紙おむつメーカーの株式管理権を取得した。94年から95年の紙おむつの販売個数は、7億から14億へと倍増した。そして、90年代半ばから後半にかけて、ジョンソン&ジョンソン社を含むビッグ3で、ベビー用紙おむつ市場の90%を占有するようになった。

しかし、現在では売上は41%程度まで落ち込み、そのシェアも徐々に失いつつある。ブラジルの消費者は高品質製品ではなく、低価格製品を求めており、この価格帯の市場に小規模企業が続々と参入し、現在、100以上のこうした企業が全国の紙おむつの30%程度を販売している。

#### ■フロイデンベルク社(米国)

##### カード式不織布の生産設備移転

フロイデンベルク・ノンウーヴンズ社テクニカル部門は、マサチューセッツ工場のカード式不織布生産設備を、ノースカロライナ、ケンタッキーの両新工場へ移転する計画であると発表した。

この統合は03年夏ごろまでに完了し、自動車用と家庭用家具製品が影響を受け、生産部門のみが含まれる。R&Dセンターやマーケティング事業部は従来通り、マサチューセッツ工場に置く。同計画は、フロイデンベルク社の全社規模の統合計画の一部で、世界各地に展開している同社生産設備を改良・統合していく。欧州では、多額の投資を行って生産設備を改良する。

同社は全製品ラインで競争力を高めねばならず、この移転を決定した。市場は全世界に広がっており、高品質、低価格製品の生産維持が不可欠。新設備ではその目的に適合できるとしている。

#### ■ジョージア・パシフィック社(米国)

##### 事業分離、紙販売事業の売却延期

ジョージア・パシフィック(G-P)社は、金融市場の低迷と自社の建設用製品部門の不調を理由に、消費者製品/パッケージング事業の建設用製品部門

からの分離、保留中のユニソース紙販売事業の売却を延期すると発表した。同社は今後、市況が好転した時点で同計画を実施する方針。

G-P社は02年5月に消費者製品/パッケージング事業、建設用製品/販売事業を上場企業2社に分離すると発表した。同社と経営アドバイザー会社ゴールドマン・サックス社は、現在の債務状況、株式市況、建設用製品の売上状況を考慮して、計画していた事業分離の延期を決定した。

G-P社は計画では、02年末に10億ドルの新規株式公開に踏み切り、03年前期に分離を完了する予定であった。G-P社の消費者製品企業は、世界最大のティッシュ・メーカーとなり、エアレイド市場でも6万tの年間生産能力を所有する大手メーカーになると期待される。

#### ■ポリマー・グループ

##### 4年間で売上10億ドルまで増加へ

ポリマー・グループ(PGI)は、連邦破産法第11章の適用を申請したことによる同社の先行き不安から、一部顧客の競合他社への発注替えが増加し、02年の売上が8億ドル弱まで減少する見込みであると発表した。

証券取引委員会への届出によれば、PGIの02年度の売上は、2.7%減の7億9,300万ドルまで落ち込み、粗利益は17.2%の1億3,670万ドルとなる見込み。

PGIは、貸主の賛否を問うために作成した組織再編計画の中で、03年から06年の売上・粗利益を予想し、純利益を03年が8億7,400万ドル、04年が9億500万ドル、06年が10億ドル弱と見込んでいる。

PGIは原材料費の削減、生産の効率化、製品構成の改善により、低価格を実現する方針。

#### ■ペーパー・バック・プロダクツ社(欧州)

##### PPP社が9,500万ユーロで買収

大人用紙おむつメーカー、ペーパー・バック・プロダクツ(PPP)社経営陣と英

国のベンチャーキャピタル企業は9,500万ユーロでPPP社を買収した。同社経営陣と3iグループは、アメリカ銀行をはじめとする7銀行による企業連合から資産を買収している。買収により、同社はペーパーバック社へと社名変更した。

ベンチャーキャピタル企業とその欧州基金は、この取引に3,600万ドルの普通株を提供し、さらにウェルス・ファーズとパークレー銀行が、債務負担による資金調達を行っている。主要株主である3iグループは、調達した資金の一部を工場の改良と新製品の開発に投下する。

ペーパーバック社は、ペーパー・バック・プロダクツ社が米国のワイアント・ヘルスケア社とP&G社からアテンズの生産ラインを買収した後、99年に設立された。なお、01年の売上は2億5,000万~2億7,500万ドルである。

#### ■テラシス社(トルコ)

##### サーマルボンド生産設備を新設

トルコのサニタリー製品用カバーストックメーカーのテラシス社は、700万ドルを投じてイスタンブールにカード式サーマルボンド不織布の生産設備を新設している。

5,000㎡の新工場は、サニタリー用素材/コーティング・ストック/芯地などを生産する同社既存工場の工業団地内に位置し、来年4月に商業生産を開始する予定。新ラインは5.1m幅で、5つのベール・オープナー、エアコントロールシステム、カード、カレンダー、ワインダー、スリッターからなる。新設備の建設費は600万ドル。

同社が、スパンボンドではなく、サーマルボンドラインを選択したのは、トルコ市場では後者のほうが好調であるという理由から。新ライン生産量の2/3はサニタリー用に出荷され、残りは芯地用となる。テラシス社の従業員は現在100名だが、新ライン稼働後は10名増員する予定。